
数学協働だより 2015年10月号

☆ 平成27年度 研究集会スケジュール公開

7月1日、平成27年度数学協働プログラム研究集会の詳細が公開されました。
<http://coop-math.ism.ac.jp/event/schedule>
諸事情により、日程等変更の可能性がございます。上記URLにて最新の情報をご確認ください。

研究集会リストを掲載した広告の配布を開始いたしました。
低解像度版はwebにてダウンロードできます。
<http://coop-math.ism.ac.jp/info/download>
Full version (pdf) をご希望の方は事務局までお申し付けください。

☆ 開催案内 (10月)

ワークショップ
「大自由度分子系における化学反応機序の理解と制御」
2015. 10/31 - 11/1, 北海道大学
運営責任者：寺本 央、小松崎 民樹
<http://coop-math.ism.ac.jp/event/2015W02>

☆ 開催案内 (11月)

ワークショップ
「ウェーブレット理論と工学への応用」
2015. 11/11 - 11/12, 大阪教育大学 天王寺キャンパス
運営責任者：守本 晃、芦野 隆一
<http://coop-math.ism.ac.jp/event/2015E05>

シンポジウム

「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会2015」
2015. 11/14, 東京大学駒場キャンパス数理科学研究科棟
運営責任者：小谷 元子
<http://coop-math.ism.ac.jp/event/2015C01>

ワークショップ

「数理構造保存を接点とした数学・HPC・実科学のクロスオーバー」

2015. 11/24 - 11/25, 電気通信大学

運営責任者：山本 有作、星 健夫、井町 宏人

<http://coop-math.ism.ac.jp/event/2015W06>

◎ワークショップ「感染症数理モデルの実装における数理的および社会的問題点に関する国際ワークショップ」の開催日に関して

当プログラムにて作成いたしました開催案内広告にて、上記ワークショップの開催日が「2015年11月17日（火）」となっておりますが、このたび

「2015年12月15日（火）」

へ変更されました。近日中、Web・SNS等にて本情報を反映いたします。

ご了承くださいませようよろしくお願い申し上げます。

☆シンポジウム

「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究会2015」

----- ポスター発表の募集について -----

メッセージが届いております。周知および参加ご検討のほど、宜しく願いいたします。

「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究会」（研究会）は、若手研究者の皆様に、諸科学や産業への応用展開のような数学の思わぬ力を発見してもらうことや、産業界を含む様々な分野で活躍できる場の存在を認識してもらうことを目的に、産官学協働のもと昨年10月に開催しました。

数学イノベーションの潮流にのり、今年も引き続き研究会2015を開催します。

（開催日は本MLの上記開催案内をご参照ください。）

今回の研究会2015では、諸科学・産業への応用可能性が高く、もしくは今後高くなることが期待される研究内容を、ポスターを使ってわかりやすく発表された若手研究者を表彰する制度を設けました。

多数の若手研究者のご参加をお待ちしております。

ポスター発表をご希望の方は

10月16日（金）までに、メールにて、御名前、御所属、学年、題、概要、キーワード等を

大阪大学 教授 関根 順 sekine@sigmath.es.osaka-u.ac.jp

京都大学 教授 坂上 貴之 sakajo@math.kyoto-u.ac.jp

へお送りください。

優れた発表には「ベストポスター発表」を授与し表彰いたします

ポスター発表要領等は、以下をご覧ください。

<http://mathsoc.jp/administration/career/kouryukai2015.html>

☆「数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働 意識調査2015」

文部科学省委託事業「数学協働プログラム」数理・材料科学作業グループの活動の一環として、「数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働の現状」についての調査を、4月23日より開始しております。

本調査は、数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働の鍵となる相手や、テーマを見つけるきっかけとなる情報を収集・取りまとめをし、多くの方が簡単に共有できるようにすることを目指すものです。

本調査により皆様から寄せられた「協働による解決が見込める課題や取り組み」「個々の分野の研究テーマや問題意識」等を報告書の形にまとめ、2015年度末から2016年度始めに一般公開する予定です。回収した調査票は、調査報告書作成のみに使用いたします。

本調査及び報告書は、異分野協働による研究活動の情報収集および発信の一助となる事を目指しております。つきましては、数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働に関心をお持ちの皆さまに、下記の調査を周知及び御協力をいただけましたら幸甚に存じます。

調査票リンク：<http://coop-math.ism.ac.jp/info/MathMate-comm#opinions>

調査期間：2015年10月31日（土）まで（今月末）

☆数理・生命科学作業グループからの「提言書」

2015年3月23日、「数学連携ワークショップ～生物学と数理科学の協働～」@日本数学会2015年度年会にて、数理・生命科学作業グループより

「数学協働プログラム提言『数理生命科学』」
が公開・配布されました。この提言書では、数学が生命科学の様々な分野において既に多岐にわたって利用され、分野の基礎となっている現実を紹介すると同時に、これから分野の発展に寄与すると考えられる数学的手法や視点についての情報を提供しております。

現在、下記URLにて一般公開しております。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/coop-math-life>

皆様の活動の更なる発展に繋がれば幸甚に存じます。

☆数理材料科学コミュニティ

2015年2月9日、数理材料科学作業グループにおける議論を基に、新事業「数理材料科学コミュニティ」の運営を開始いたしました。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/MathMate-comm>

数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働による研究活動に関心をお持ちの方々にとって、様々な活動の情報を気軽に発信・共有するための触媒となり、異分野間の共同研究や開発、新研究課題や学術分野の萌芽など、皆様の活動の益々の発展に役立てていただく事を目的としております。

関心をお持ちの方はぜひ上記サイトをご覧ください。

☆SNSサービス 実施中！

○数学協働プログラムでは、Facebook, Twitterでの告知も行っております。数学協働プログラムの行事だけでなく、協力機関の異分野協働関連行事も宣伝しております。ぜひフォローおよびシェアをお願いいたします。

数学協働公式Facebook：<https://www.facebook.com/CoopMath>

数学協働公式Twitter：@CoopMath

○書店や他の団体のアカウントと提携し、幅広い分野の書籍の情報や、各地で行われている数学と諸科学・産業の協働による取り組みをより広く収集・発信していきます。

○Twitterにて使用しておりました #CoopMath2014 につきまして、2015年度版を新たに作成しました。新ハッシュタグは #CoopMath2015 です。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/Summary>

こちらもぜひご利用ください。

○上記以外にも、数学と諸科学・産業の協働に関する情報を入手次第、本SNSサービスを通して発信しております。数学と諸科学・産業の協働に関連する取り組みのSNSサービスによる発信を希望される方は、事務局までお問い合わせください。